創立35周年記念

配電盤団地

1962～1997年

配電盤茨城団地協同組合

目　　次

組合概要……（1）
発刊のご挨拶　　配電盤茨城団地協同組合理事長　　宇賀神　正……（2）
35年のあゆみ……（3）
役員変遷表……（19）
組合及び組合員等が受けた表彰等……（21）
現役員紹介……（24）
組合員物故者名簿……（25）
団地への交通略図……（26）
団地内各社配置図……（27）
組合員企業紹介……（28）

組　合　概　要

平成９年８月３１日

1.	設立年月日	昭和３７年４月６日
2.	所在地	
	本部	東京都港区芝大門２丁目１１番１号　配電盤工業会館３Ｆ
	団地	茨城県猿島郡総和町下大野２０００番地
3.	組合員数	１９社（企業形態は総て株式会社）
	業種別	配電盤製造業　８社
		部品製造業　５社
		板金・塗装業　４社
		その他　２社
4.	役員	理事　７名　監事　２名
		理事長　宇賀神　正
		副理事長　白川　節太郎
		〃　北川　真
		〃　大矢　英男
5.	組合専従職員	６名
6.	各種委員会	（総務、労務）　（財務、金融）　（文化厚生）
		以上　委員会　３
7.	組合員従業員	団地勤務者　７８３名（男子５６４名、女子２１９名）
8.	出資金	７，６３０万円
9.	組合員団地工場生産販売高	２１２億円（平成８年度）
10.	団地設備	土地　工場団地敷地　147,104 ㎡
		うち工場敷地　108,509.70㎡
		建物　工場建屋58棟　46,473 ㎡
		共同施設
		建物　組合事務所、研修会議室、資材マーケット他
		11棟　2,849.43㎡
		構築物　上下水道施設、消火設備、団地内道路等
		厚生施設　食堂、体育館、野球場

ご 挨 拶

配電盤茨城団地協同組合
理事長 宇賀神 正

団地創立３５周年に当たり謹んでご挨拶申し上げます。

平成４年１０月に３０周年の祝賀行事を行ってあれから早くも５年、月日の経つのは早いものだとつくづく感じております。

思い起こせば、今から４０年近く前、先代社長の方々が山林原野であったこの総和の地に工場団地建設に着手、３年余の歳月をかけ昭和３９年東京オリンピックの年に完成稼働となりました。

以来３０有余年周辺環境は大きく変貌、東京からのアクセスも利便性が飛躍的に高まり、当時を知るものにとって隔世の感があります。当時の団地に対する投資額は、現在価値に換算すると膨大な額であり、大きなリスクの下将来の発展を信じ運命共同体としての団地を完成させたのであります。

今日、団地運営は二世三世の方々が中心となっておりますが、創立当時の苦労を知る社長は今も二、三人が健在でありますことは心強い限りであります。

この５年、バブル崩壊後の大不況に遭遇し、その後遺症が今なお癒されぬ状況をみていると、今後、当団地の進むべき方向を的確に判断し、組合員各位の英知を結集して来るべき４０周年に向け、さらに一層の努力をしていかねばならないと思います。

団地周辺の整備、建物や諸設備のリニューアル等々新生配電盤団地にするべく種々の施策を社長会、工場長会の皆さんと論議を尽くして進めていきたいと考えております。壮年期にさしかかった当団地を老化させないために不断のリフレッシュ、活性化の努力が必要であり、関係各位のご指導ご協力を切にお願い申し上げご挨拶といたします。

35 年 の あ ゆ み

（昭和37年度～平成８年度）

1．昭和36年５月東京配電盤工業会会長幸田秀一、副会長宇賀神金四郎外幹部役員を中心に工場団地建設計画を企画し同年７月より茨城県猿島郡総和町長に土地買収方交渉開始、土地確保に着手。

1．昭和36年11月15日、茨城県に出頭し集団化援助を要望し、同年12月、工場集団化貸付金特別会計予算の配慮を願出た。

1．昭和37年３月26日東産認協第514号を以て組合設立認可を受く。

1．組合員　21名　出資金540万円を以て組合設立、理事長幸田秀一、常務理事宇賀神金四郎、樋口重蔵、白川一郎、理事久保田正、大口慶次郎、田原一郎、宮田優、武藤任、監事中谷俊衛、渡辺勝次郎、遠藤てる、就任、昭和37年４月６日設立登記完了。

1．工場用地買収を総和町開発公社に依頼買収に着手し昭和36年８月26日工場用地140,644㎡（公簿）の買収契約設立、契約金として41,962千円支払昭和37年２月27日代金完済。

1．昭和37年１月団地造成を決議し工場等集団化事業実施計画書を茨城県へ提出、三ケ年計画として下記実施を決定。

初年度　土地造成、各社工場21棟、受電、給排水、消火設備

二年度　組合事務所、診療所、食堂、日用品及資材マーケット、試験室等の建物、従業員宿舎、道路舗装

三年度　塵埃処理場、マイクロバス、防火貯水槽、境界、研修会議室、防犯灯等

予算合計　820,479千円

1．昭和37年６月　組合の総力を結集して建設に当ることを議決し下記委員会を設置して団地建設を分担して着手した。

総務委員会＝諸計画を企画担当
委員長　幸田理事長

造成委員会＝土地造成を担当
委員長　田原理事

建設委員会＝工場建物建設を担当
委員長　久保田理事

金融委員会＝建設資金の調達を担当
委員長　大口理事

土地委員会＝住宅用地買収を担当
委員長　宮田理事

住宅建設委員会＝従業員宿舎建設を担当
委員長　宮田理事

1．昭和37年６月　農地転用事前審査申請同年12月承認、38年６月農地転用本申請、同年８月29日承認認可を受く。

1．昭和37年７月　茨城県知事より団地指定の通知を受け、建設診断開始。

1．昭和37年７月　山下寿郎設計事務所に建設設計を依頼。

1．昭和37年12月１日　鹿島建設㈱との間に初年度工事契約締結、同年12月13日地鎮

祭挙行し工事着手。

1．昭和38年２月８日　茨城県へ初年度工事に対する中小企業近代化資金交附申請提出、同年２月20日承認決定、２月22日7,100万円借入を受く。

1．昭和38年６月28日　初年度工事に対する中小企業金融公庫並に商工組合中央金庫の協調融資各5,000万円宛の融資を受く。

1．昭和38年２月より工場用地所有権移転登記、同年９月完了。

1．昭和38年５月　定時総会開催第１期決算を承認、役員改選の結果、理事全員重任、監事１名減の２名とし中谷、渡辺両氏重任、代表理事に幸田秀一重任した。

1．昭和38年12月　第２年度建設に係る事務所外共同施設設置の具体案を決定、鹿島建設㈱と工事契約締結し、茨城県へ昭和38年度中小企業近代化資金貸付申請、昭和39年３月4,652万円の貸付を受く。

1．昭和38年12月　第一次従業員宿舎建設につき鹿島建設㈱と契約、工事着手、昭和39年３月商工中金より年金福祉事業団代理貸付金7,980万円の融資を仰ぎ鉄筋コンクリート造独身寮９棟、木造一戸建住宅81棟を建設、同年９月竣工。

1．昭和39年５月　第２年度建設工事に対する商工中金並に中小企業金融公庫の協調融資各4,150万円の融資を受け工事順調に進行、同時に工場設備機械の購入資金として商工中金より3,650万円、中小企業金融公庫より3,475万円の融資を受け夫々組合員に転貸実施す。

1．昭和39年７月　工場完成による移転操業開始に伴い爾後の団地運営を円滑にする為下記各委員会組織の設置を決議し発足した。

総 務 委 員 会＝団地運営の基本的企画を担当

委員長　幸田理事長　副　宇賀神理事

財務金融委員会＝組合並に組合員の金融を担当

委員長　大口理事　副　樋口理事

文化厚生委員会＝従業員の福利厚生事業担当

委員長　白川理事　副　田原理事

労 務 委 員 会＝募集、給与の統一、労務規定其他全般

委員長　宮田理事　副　幸田秀男

技 術 委 員 会＝製品規格技術の研究向上を計る

委員長　久保田理事　副　久保田吉男

施設運営委員会＝共同施設の運営建設を担当

委員長　古川社長　副　中谷監事

業 務 委 員 会＝配電盤の共同受注、共同購入配電盤業者の輪番制

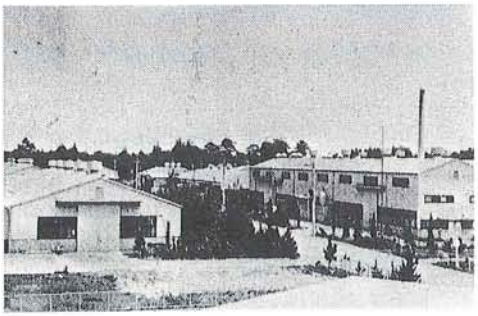
1．昭和39年10月３日　初年度及び第２年度工事並に第一期従業員宿舎工事完了、団

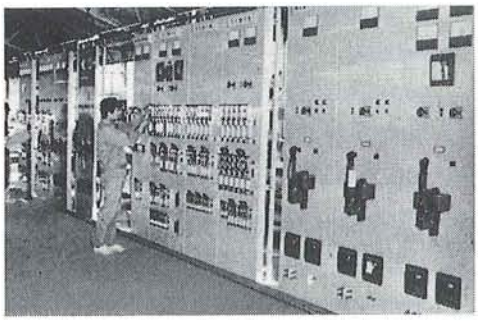
地施設大方竣工したので関係官庁、金融機関の参列を得て落成式挙行。

1．昭和39年12月　第３年度事業計画について承認を受け工事実施し、茨城県より中小企業近代化資金2,154万円の貸付を受く。

1．昭和40年２月　団地並に各社工場の運営を円滑ならしめる為、１日理事長制実施を議決３月より実施。

1．昭和40年３月　臨時総会開催、中小企業庁担当官、田村公認会計士の臨席を得て団地建設に伴う経理処理の基本線を下記の通り整理のことに決定す。





(イ)　共同施設は総て組合の資産とする。

(ロ)　各社の工場は各社の所有物として経理処理する。

(ハ)　共同施設に対する諸経費は賦課金により元本償還は出資徴収による。

(ニ)　建設用土地及び道路用地は組合所有としその醵出金は出資に充当する。

(ホ)　共同施設に対する不足金を各社醵出の建設資金の内から増資に充当、出資総額1,970万円となる。

1．昭和40年３月　事業部を設置、事業部運営規定を制定して共同受註事業開始。

1．昭和40年５月　定時総会開催、役員改選の結果、理事監事全員重任、理事１名増員古川氏就任。

1．昭和40年５月　労働省より中小企業集団労務改善補助事業の指定を受け、改善実施計画を樹立５ヶ年間補助金を受けて実施。

1．昭和40年６月　臨時総会開催、組合借入限度７億円とすること、及び季節資金として中元並に年末融資取扱の方針決定。商工中金より中元資金の融資を受けて転貸実施。

1．昭和40年６月　第３年度建設事業に対する商工中金並に中小企業金融公庫の協調融資各1,250万円の借入を受け事業完成。

1．昭和40年６月　労務委員会起草に依る団地共通の就業規則設定、実施を議決。

1．同年同月　茨城県の指名業者の指定を受け県関係の配電盤共同受註の積極化を計ることとなった。尚、政府の中小企業に対する官公需発註の促進に伴い昭和41年３月古河自衛隊、42年３月には建設省の指定業者の指名を受けた。

1．昭和40年８月　組合金融規定、財務金融委員会規定設定、組合私設水道料、交換

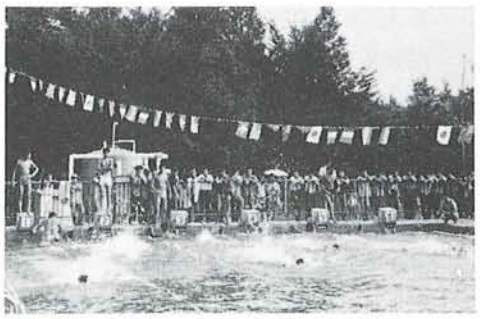
台利用電話料金徴収を議決実施した。

1．昭和40年８月より労務委員会提案の従業員に対する労務管理、監督者訓練の講習会開始、以後継続実施のことを議決。

1．昭和40年９月　第一次建設に伴う自己資金充実を計る為、出資金1,260万円の増資を決定、併て組合員に対して長期運転資金を商工中金から１億２千万円借入れ全員に転貸し業務の円滑を計らしめた。

1．昭和40年９月　茨城県の団地運営診断開始され翌41年３月報告会開催さる。

1．昭和40年10月　第２次住宅建設資金3,290万円を借入れ、鉄筋コンクリート造独身寮４棟、木造１戸建家族宿舎24棟を完成、これを以って第一次建設を完了、初年度来の総工費並に機械代等合計11億2,347万円となった。



1．昭和40年10月　共同食堂を委託経営より自営に切換え独立採算性を議決し実施。

1．昭和40年12月　共同施設に対する特別賦課金制度を償却費、金利其他直接経費を賄う特別会計として賃貸料徴収に変更実施。

1．昭和41年２月　組合員の金融補充の為、自己資金1,000万円を原資とした小口金融制度を議決し、３月より１社300万円を限度として実施。

1．昭和41年３月　本年度より新入社員に対する基礎知識教育訓練を県立職訓校に委嘱実施。

1．昭和41年６月　事業部水戸営業所開設を決議し、同年８月披露宴開催進出。

1．昭和41年６月　中小企業庁計画部振興課、助成課及び下請企業課と官公需確保に対する説明会並に対策打合せ会開催。

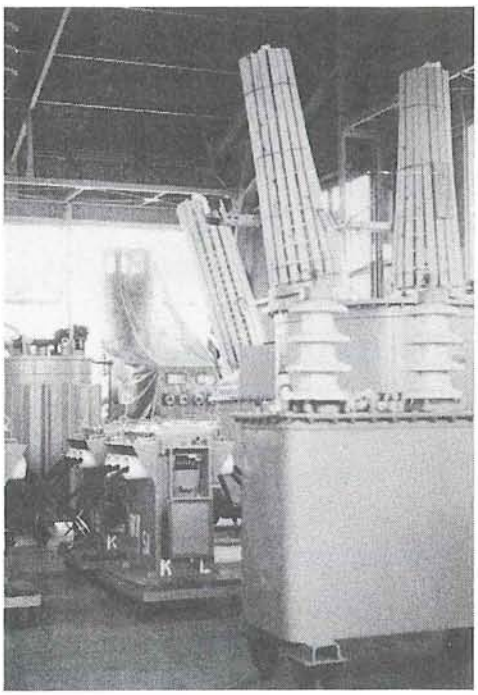
1．昭和41年７月　助成金の償還条件、７ヶ年に緩和さる。

1．昭和41年10月　創立記念日に文化・体育祭開催を決定実施。

1．昭和41年11月　商工中金並に中小企業金融公庫借入金額を向う２年間半額に減額の条件変更承認さる。

1．昭和41年11月　事業部水戸出張所を一時閉鎖、出張活動によることに切換え。

1．昭和41年12月　茨城県商工労働部工業課と(1)共同受註、(2)技術開発、(3)講習会及び研究会に就ての座談会開催。



1．昭和42年５月　第一次建設のうち繰述べの工場建設を43年度以降３ヶ年計画実施にてすることに決定。

1．昭和42年５月　通常総会に於て理事増員に関する定款変更を議決、役員改選並に互選の結果、理事長幸田秀一、専務理事伊牟田繁、常務理事宇賀神金四郎、樋口重蔵、白川一郎、久保田正、理事大口慶次郎、田原一郎、宮田優、古川高光、中谷俊衛、渡辺勝次郎、北川末二、監事大矢武雄、藤岡雄吾、以上13名、監事２名就任。

1．昭和43年１月　増資540万円実施を議決、５月払込終了登記出資金3,770万円となる。

1．昭和43年３月　茨城県より高度化資金1,210万円商工中金より550万円の貸付を受け西独製ニブリングマシン外共同板金作業機械設置。

1．昭和43年５月より第二次計画による43年度工場増設に着手、茨城県より43年９月及び12月計4,204万円の高度化資金、商工中金より44年５月880万円の貸付を受け、港工業所外４社の工場増設完了。

1．昭和43年７月　二次建設に伴う家族宿舎として鉄筋コンクリート二階建１棟建設、年金福祉事業団代理貸1,270万円を受く。

1．昭和43年８月　組合員社長後継者（所謂二世）の会を結成、組合に新風を吹込む理想の下に新風会と命名して発足、先ず相互間の親睦を計り、次に毎月上旬に勉強会開催、各会員輪番に幹事となり運営することに決した。

1．昭和44年５月　通常総会開催、役員任期満了改選の件は監事藤岡雄吾辞退。代って大條駒雄就任、その他の役員は理事長以下全員重任す。

1．昭和44年６月　団地の実情をＰＲし求人活動を容易且つ積極化する為学校、家庭向に映画「若者のくに」を製作、８mm及び12mmフイルム各２本を製作（費用200万円）した。

1．昭和44年６月　新製品開発の一手段として広くアイデア募集することを議決し白川一郎、久保田正世話人として新聞等に広告する等活動することを決定。

1．昭和45年１月　第二次計画による44年度資金として茨城県より高度化資金1,831万円、同年３月商工中金協調融資550万円の貸付を受け宇賀神電機外１件の工場増設完了。

1．昭和45年２月　全体会議に於いて共同板金作業所を協業化法人に改組、株主に配電盤業者11社、板金３社が加盟して積極

的に運営することを議決。

1．昭和45年６月　560万円増資払込、出資金4,330万円となる。

1．昭和45年８月　臨時総会開催、組合員脱退時の出資払戻金を出資払込金の範囲に於て払戻を行うことに定款変更の件を可決。

1．昭和45年９月　取引高の拡大に伴い金融規定中運転資金の転貸限度を倍額迄拡大を決定。

1．昭和46年１月第二次計画45年度分に対する建設診断実施され同年５月茨城県より高度化資金4,963万円、７月商工中金協調融資1,150万円の貸付を受け幸田電機ほか４件の工場増設完成、二次計画終了。

1．昭和46年１月　柳橋住宅地が調整区域に編入の告示あり、同年７月従業員宿舎用地として開発行為の申請を茨城県へ提出、昭和47年５月知事の許可を得て整備に着手、道路及び排水工事費550万円にて完成。

1．昭和46年３月　事業部共同受註の拡大を計画、旭日電機を幹事会社として水戸営業所を再開設、白川事業部長の下各社営業責任者の協力体制を強化して、東京営業所と共に各独立活動開始。

1．昭和46年５月　全国工場団地協同組合連合会通常総会に於て組合事業に貢献した功績により中谷理事表彰さる。

1．昭和46年５月　通常総会開催、役員任期満了に伴う改選の結果全員重任、46年度共同施設に対する借入償還金増大に伴い償還補充賃金として増資1,100万円を議決し、８月より分割払込、47年４月払込完了により登記す。
出資合計5,430万円となる。

1．昭和46年６月　組合運営委員会メンバー交代を議決、下記委員長、委員を委嘱。

財務金融委員会
　委員長　宇賀神常務理事
　　副　大口理事
業務委員会
　委員長　幸田理事長
　　副　白川常務理事
技術委員会
　委員長　田原理事
　　副　樋口常務理事
文化厚生委員会
　委員長　久保田常務理事
　　副　宮田理事
労務委員会
　委員長　白川常務理事
　　副　古川理事
施設運営委員会
　委員長　中谷理事
　　副　渡邊義男

1．昭和46年８月　第二次建設完了に付き竣工式挙行。

1．昭和46年10月　共同福祉施設設置、並に運営優秀につき労働大臣表彰を受く。

1．昭和46年12月　第二次建設完了に伴い長期運転資金として商工中金より5,300万円の融資を受け第二次工場増設者幸田電機ほか８社へ転貸。

1．新風会の勉強会を毎月７日に開催することを決め７日会と称して田村先生を講師とし財務分析、原価計算テキストを購入、継続して講習実施することを決議。

1．昭和47年３月　46年度中小企業雇用管理近代化モデル集団の指定を受く、同年４月雇用促進事業団主催の室内体育館建設に関するヒヤリング開催され出席す。

1．同年同月　日用品マーケット兼従業員クラブ建設を決議、団地内に室内体育館建

設予定による計画決議、既設団地見学を決定、6月5日岐阜機械、6月26日静岡金属団地見学。

1．昭和47年4月　組合従業員退職給与規定制定。

1．昭和47年5月　雇用管理近代化計画策定の為白川理事を長とする推進委員会結成、同年8月計画書を茨城県へ提出承認さる。

1．昭和47年6月　夏季中（自7月22日至8月26日）団地内は毎土曜半休制とすることを議決、実施。

1．同年同月　事業部活動を円滑化する為事業部規約改正。

1．昭和47年6月　室内体育館、規模並に自己資金調達計画を検討の結果、労働省予算内に於て建築願うことに議決。其の線にて雇用促進事業団並に設計事務所と接渉、仕様書決定。

1．昭和47年8月　前期同様出資1,100万円増資の件を議決し9月より分割払込のこととし、48年4月に払込済に付き登記す。出資総額6,530万円となる。

1．昭和47年11月　室内体育館の設備、完成後の運営、管理を担当する体育館運営委員会設立を議決し、委員は新風会員及び工場長を主体とする13名とし、委員長に渡邊義男を委嘱。

1．同年11月　雇用促進事業団に於て体育館工事入札実施、鶴見建設落札、同月工事着手、48年5月末完成、落成式挙行。

1．昭和47年12月　事業部活動を休止し、東京及び水戸営業所共に閉鎖、48年1月末迄残務整理のことに決定。

1．昭和48年1月　日用品マーケット兼従業員クラブ及び塵埃処理場等共同施設に対する建設診断実施され、同年4月中小企業高度化資金貸付申請書を茨城県へ提出。

1．昭和48年3月～7月　日用品マーケット兼従業員クラブの建屋を板東工業㈱、塵埃処理場は光商工㈱、冷暖房設備は幸田電機商事㈱と工事契約締結、夫々竣工期日を9月末として工事着手。

1．昭和48年3月　団地の面する県道拡幅工事の為、団地用地166.94㎡及び日用品マーケット敷地39.1㎡県に買収されることとなった。

1．昭和48年5月　通常総会開催役員任期満了による改選の結果全員重任、昭和50年度に週休2日完全実施を目標に本年度より週休2日制（毎月第一土曜）採用を議決、7月から実施のこととした。

1．昭和48年6月　室内体育館運動設備及び設備予算編成会議開催、体育館運営並に管理規定を制定利用計画、管理要領を検討協議す。

1．昭和48年10月　団地創立10周年行事を団地内にて行う。団地事務所前に築山を作り、正門より事務所前迄の処に植樹。

1．昭和49年5月　厚生施設として、テニスコートを一面建設。

1．昭和49年7月　1,650万円の増資を行い、出資総額8,180万円となる。

1．昭和49年8月　厚生施設として、日用品マーケットを開設し「だるまや」に委託経営せしめることにした。

1．昭和50年1月　創立10周年事業である、

理事長の胸像が完成し団地事務所前に建立した。

1．昭和50年1月　団地内企業は週休2日制を実施する。

1．昭和50年5月　通常総会開催、役員任期満了により改選の結果、全員重任と決定した。

1．昭和50年11月　臨時総会に於て常務理事宇賀神金四郎氏死亡並に理事渡辺勝次郎氏辞任の申出に伴う後任補充の結果、宇賀神正氏及び渡邊義男氏が選任された。

1．昭和51年2月　柳橋住宅地の所有者名儀を組合より組合員に移す。

1．昭和51年9月　組合員社長を対象とする長寿祝金制度を創設。

1．昭和52年1月　組合各種委員会の委員長及び副委員長の変更を一部行い次のように委嘱した。

総務企画委員会
　委員長　幸田理事長
　　副　村田　清
財務金融委員会
　委員長　久保田常務理事
　　副　白川常務理事
業務委員会
　委員長　白川常務理事
　　副　宇賀神理事
文化厚生委員会
　委員長　渡邊理事
　　副　宮田理事
労務委員会
　委員長　幸田秀男理事
　　副　白川節太郎
技術委員会
　委員長　宇賀神理事
　　副　田原　博
施設運営委員会
　委員長　中谷理事
　　副　北川理事
長期計画策定委員会
　委員長　白川常務理事
　　副　久保田常務理事

1．昭和52年4月　1組合員に対する短期貸付金5百万円迄について専務理事の専決とした。

1．昭和52年5月　田原、大口両理事死亡に伴う後任理事として、村田清、幸田秀男両氏を理事に選任。

1．昭和52年5月　定款を一部変更し、新たに副理事長制を設け、白川、久保田両氏を副理事長に選任。
本措置に伴い常務理事制は廃止。

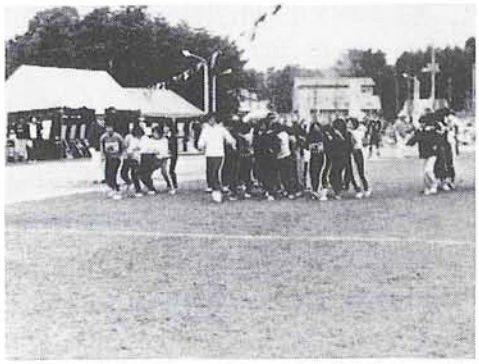
1．昭和53年1月　1組合員に対する季節資金の貸出限度を2千万円より4千万円に引上。

1．昭和53年5月　第16回総会にて役員の改選を行い、健康上の理由にて伊牟田繁専務理事が退任し、後任に藤沢右門が就任し、外全員重任。

1．昭和53年7月　団地敷地の一部を三四物産株式会社に貸与しガソリンスタンドを開設。

1．昭和53年10月　団地完成15周年記念式典並びに運動会を団地にて行う。

1．昭和53年10月　久能住宅団地の所有名儀を組合より組合員に移す。



1．昭和54年３月　組合各種委員会の正副委員長を一部変更し、次のように委嘱した。

総務企画委員会
　委員長　幸田理事長
　　副　渡邊理事
業務委員会
　委員長　宇賀神理事
　　副　幸田理事
財務金融委員会
　委員長　久保田副理事長
　　副　白川副理事長
文化厚生委員会
　委員長　渡邊理事
　　副　藤岡康太郎
労務委員会
　委員長　幸田理事
　　副　白川節太郎
技術委員会
　委員長　白川節太郎
　　副　田原　博
施設運営委員会
　委員長　大矢英男
　　副　中谷俊衛

1．昭和54年４月　組合の経理組織を部門別独立採算制に変更。

1．昭和54年４月　久能住宅団地内の組合所有私道を総和町へ寄附。

1．昭和55年３月　組合より組合員日光工業株式会社が脱退し、出資持分、不動産の一切を組合員株式会社日幸電機製作所へ譲渡。

1．昭和55年３月　組合員鷺宮ユニコントロール株式会社が脱退し、鷺宮ジョンソン・コントローズ株式会社がその出資持分、不動産の譲渡を受け組合に加入した。

1．昭和55年８月　１組合員に対する季節融資の貸出限度を４千万円より６千万円に割引手形の最高限度２億円を３億円に各々引上。

1．昭和55年10月　組合の旅費の規程全般改正及び慶弔規程並びに団体保険加入取扱規程の制定をした。

1．昭和56年５月　第19回総会に於て役員改選を行い重任を辞退した樋口重蔵氏を除き全員重任。

1．昭和56年５月　組合専従職員の定年男子55才、女子45才を一律に60才に延長する。

1．昭和56年６月　久保田正副理事長逝去に伴う後任の副理事長として渡邊義男理事を専任。

1．昭和56年５月　団地設立20周年誌編纂委員会が編成された。
　委員長　宮田　優
　委　員　寺内庄一郎、白川　昇
　　藤沢右門、中村宣夫

1．昭和56年６月　組合の給与規程を全面改正定。

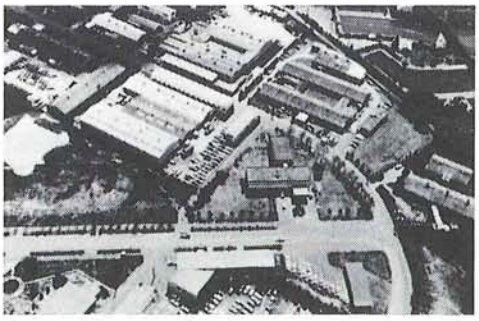
1．昭和56年７月　組合内各種委員会の内、下記委員会の正副委員長を変更する。

総務企画委員会
　委員長　白川副理事長
　　副　渡邊副理事長
財務金融委員会
　委員長　渡邊副理事長
　　副　白川副理事長

1．昭和56年７月　組合の休職規程を設定。
1．昭和56年７月　組合にて共同生産を行う函の取扱要項制定。
1．昭和57年１月　団地創立20周年行事実行委員会が編成された。

委員長　渡邊義男
副　宇賀神正、幸田秀男
委　員　宮田優、大矢英男、藤岡康太郎、村田光章、白川節太郎、北川真

1．昭和57年２月　１組合員に対する単名資金の貸出最高限度は団地内所有土地㎡当り２万円とし、之に所有土地の㎡数を掛けた数字とすることに改正。
1．昭和57年５月　大矢武雄監事死亡に伴う後任監事として大矢英男氏を選任。
1．昭和57年８月　１組合に対する商手割引枠の限度を１社最高３億円とあるのを１社最高５億円に改正。



1．昭和57年10月　団地設立20周年記念式典並にカラオケ大会を団地にて行う。

1．昭和58年３月　組合員株式会社樋口製作所は廃業し、組合を脱退した。
1．昭和58年５月　大條駒雄監事死亡に伴う後任の監事に山田稔氏を選任した。
1．昭和59年１月　株式会社飯塚電機製作所が当組合に加入し、旧株式会社樋口製作所の跡地に入所した。
1．昭和59年５月　第22回総会に於て役員改選を行い、重任を辞退した古川高光氏を除き全員重任した。
1．昭和59年６月　組合各種委員会の正副委員長が、次のように交替した。

総務企画委員会
委員長　白川副理事長
副　渡邊副理事長

財務金融委員会
委員長　渡邊副理事長
副　白川副理事長

業務委員会
委員長　宇賀神理事
副　幸田秀男

文化厚生委員会
委員長　山田監事
副　藤岡康太郎

労務委員会
委員長　幸田秀男
副　白川節太郎

技術委員会
委員長　白川節太郎
副　田原　博

施設委員会
委員長　大矢監事
副　中谷理事

1．昭和59年６月　組合員株式会社旭日電機製作所が廃業し、昭和60年３月付にて組合を脱退した。
1．昭和59年11月　臨時総会を開催し、欠員

中の役員を次の如く補充した。

理　事　藤岡康太郎、村田光章、大條修也、北川真、久保田勝三

監　事　羽田健一

1．昭和60年５月　組合員鷺宮ジョンソン・コントローズ株式会社は日本ジョンソン・コントローズ株式会社に名称を変更した。

1．昭和61年３月　組合員株式会社田原電機製作所は団地内に所有する土地建物全部を株式会社日幸電機製作所に売却し、組合を脱退した。

1．昭和61年７月　組合員に対する貸出最高限度は団地内所有土地面積の㎡当り23,500円を掛けた金額と防衛預り金の合計額とすることに改正。

1．昭和62年１月２日　幸田秀一理事長逝去される。

昭和62年２月　㈱幸田電機製作所、幸田電機商事㈱、当組合及び全国工場団地協同組合連合会の合同葬儀が九品仏、浄真寺で行われた。

1．昭和62年１月８日　臨時総会及び理事会を開催し、幸田秀一氏逝去に伴なう役員補充の審議を行い、次のように選任した。

理事長　白川一郎

副理事長　大矢英男

監　事　白川節太郎

1．昭和62年３月23日　白川一郎理事長の就任披露宴を古河市栃木家で行った。

1．昭和62年３月　組合員光商工株式会社は、茨城県倒産企業買取、高度化資金を借入れ、旧組合員株式会社旭日電機製作所の団地内設備一切を買取った。

1．昭和62年４月　組合各種委員会の改編を行い、次の部及び委員会に改正し、正副委員長、部長を委嘱した。

総務労務施設委員会

委員長　大矢副理事長

副　幸田理事

白川監事

財務金融委員会

委員長　渡邊副理事長

副　宇賀神理事

文化厚生委員会

委員長　山田監事

副　北川理事

久保田理事

業務部

業務部長　宇賀神理事

担当部長　中村宣夫

1．昭和62年５月　第22回総会に於て、役員任期満了に付、改選を行い、全員重任。

1．昭和62年６月　金融規程を一部改正し、団地内土地の担保価格を㎡当り26,700円に引上げた。

1．昭和62年９月　組合員三国工業株式会社は工場を閉鎖し、組合より脱退した。

1．昭和62年10月　日幸ドイツエアロスペー

ス株式会社が組合に加入した。

1．昭和62年10月　団地創立25周年記念式典を団地で行い、組合員各社の永年勤続従業員の表彰を行った。

1．昭和62年12月　金融事業手数料を改定し、年0.25%から年0.1%に引下げた。

1．昭和63年２月　東京事務所を配電盤工業会館３階から、芝大門２－１２－３　共生ビル２号館２階に移転した。

1．昭和63年４月　団地診療所を閉鎖。

1．昭和63年４月　塵埃処理を業者委託に変更した。

1．昭和63年７月　工場長会規約を改正した。

1．昭和63年７月　団地事務所に常陽銀行の現金自動支払機を設置した。

1．昭和63年７月　団地食堂に高性能の冷暖房設備を増設した。

1．昭和63年11月　中小企業労務改善団体として労働大臣の表彰を受けた。

1．昭和63年11月　文化厚生委員長に藤岡康太郎を委嘱した。

1．平成元年３月　組合員㈱大口電気計器製作所は廃業により、組合を脱退した。

1．平成元年４月　組合員日本ジョンソン・コントロールズ㈱が、横河ジョンソン・コントロールズ㈱に名称を変更した。

1．平成元年５月　通常総会において役員改選を行い、理事長白川一郎、副理事長渡邊義男、大矢英男、理事宇賀神正、幸田秀男、藤岡康太郎、大條修也、北川真、久保田勝三。監事村田光章、白川節太郎就任。合わせて社長会会長宇賀神正、同副会長白川節太郎、長老会会長宮田優を委嘱した。

1．平成元年８月　「組合員共有地の賃貸ルール」並びに「組合員所有土地・建物の所有権移転登記」にかかる検討委員会を発足した。

委員渡邊義男、藤岡康太郎、三ケ尻隆幸、北川真、久保田勝三、赤川昭夫

1．平成２年４月　協業化法人のハイデン工業㈱が設立20周年を迎へ、株主に記念品を贈呈した。

1．平成２年４月　組合員に対する貸出最高限度を改定し、団地内所有面積㎡当り65,200円とした。

1．平成２年５月　団地の一体制維持のため、組合員所有不動産の所有権移転登記を留保してきたが、検討委員会の答申にもとずき、通常総会において、所有権移転登記の実施を決議した。ただし、一体制の維持は今後とも必要であり、再売買予約契約にもとずく所有権移転請求権の仮登記を合わせて登記することにした。

1．平成２年６月　組合保有のハイデン工業の株式を一部譲渡し、組合員全員が同社の株主となった。

1．平成２年７月　茨城県からリフレッシュ

休暇普及促進事業推進団体に指定された。

1．平成２年10月　商工中金の総代選挙が行われ、当組合は東京都中小企業団体中央会の推薦により総代組合に当選した。

1．平成３年３月　町営水道の本管完成に伴い、久能地区への水道供給を中止した。

1．平成３年４月　共有地活用委員会ならびに30周年記念事業委員会を設置した。共有地活用委員会委員長藤岡康太郎、委員幸田秀男、村田光章、白川節太郎、久保田勝三。
30周年記念事業委員会委員長三ケ尻隆幸、委員北川真、篠原実、中谷俊一、大矢光伸。

1．平成３年５月　通常総会において役員改選を行い、理事９名。監事２名、全員再選された。

1．平成４年３月　資材マーケットを２小間増築し、14小間となった。

1．平成４年４月　恒例の新入社員共同入社式が団地２階ホールで行われた。

1．平成４年５月　目黒雅叙園において通常総会開催、第30期決算案他７議案を承認可決（30期収支実績451百万円）。

1．平成４年10月　創立30周年記念式典を来賓５名組合関係者70名出席の下、団地２階ホールにおいて挙行。

1．平成４年10月　創立30周年記念祝賀会を来賓140名出席、組合関係者50名の参加を得てあすなろ会館で開催。

1．平成４年10月　外国人研修生受け入れ事業開始、ＪＩＴＣＯに加入、㈱白川電機製作所の中国人研修生６名の受け入れ機関となり、平成５年３月から１年間研修実施。

1．平成４年10月　老朽化した体育館の処置について、茨城県雇用保険課及び雇用促進事業団水戸事務所と折衝始める。

1．平成４年11月　創立30周年記念事業として、正門前及び南門横に団地内企業案内看板設置工事着手。

1．平成４年11月　団地内道路を建築基準法上の道路として認定を受けるため、県境土木事務所及び総和町と折衝始める。

1．平成５年１月　商法による会社整理を申し立てしていた㈱幸田電機製作所について、東京地方裁判所から整理開始決定下りる。

1．平成５年３月　団地内企業が採用した43名の新規学卒者合同入社式が団地２階ホールにおいて行われた。

1．平成５年３月　日本ドイツ㈱組合脱退。

1．平成５年５月　渋谷ふるさとにおいて通常総会開催、第31期決算案他７議案を承認可決（団地施設利用料改定し年約10万円増収、31期収支実績356百万円）、役員任期満了により白川一郎理事他７名及び監事２名再選、幸田秀男理事退任、島津

光康理事新たに選任、同日理事会において役職理事再任、新たに島津理事を専務理事に選任。

1．平成５年８月　茨城県中小企業団体中央会並びに茨城県経営助成課の補助支援により、㈠労働環境改善フィージビリティー調査事業、㈡中小企業工場団地リフレッシュ調査事業について、組合の新規事業として取り組み、平成６年３月終了した。

1．平成５年９月　渡邊義男副理事長（㈱渡邊製作所社長）逝去。

1．平成５年10月　㈱渡邊製作所社長に渡邊昭夫専務が就任。

1．平成５年10月　創立30周年記念事業の団地内企業案内看板完成（投資額150万円）。

1．平成５年12月　龍田化学㈱組合加入（平成５年11月10日理事会により加入承諾）、㈱日幸電機製作所所有地8,196.63㎡を取得。

1．平成５年12月　団地１階会議室において臨時総会開催、白川節太郎を理事に、渡邊昭夫を監事にそれぞれ選任、白川節太郎監事辞任、金融ルール改定（㎡／65,200円→㎡／45,500円に引き下げ）、功労金（遺族弔慰金）贈呈基準を新たに制定。

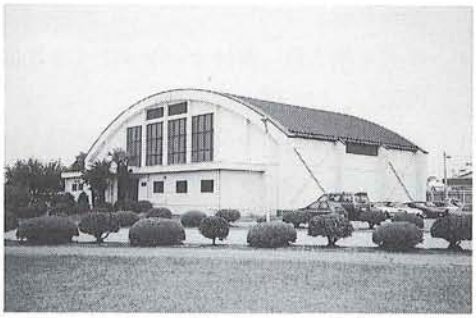
1．平成６年１月　理事会において、宇賀神正理事を副理事長（筆頭）に選任。

1．平成６年２月　㈱日幸電機製作所社長に大條文也常務就任。

1．平成６年３月　団地内企業が採用した新規学卒者46名の合同入社式が団地２階ホールにおいて行われた。

1．平成６年４月　㈱幸田電機製作所幸田秀男社長逝去。

1．平成６年５月　総額7,000万円を投じて雇用促進事業団が実施していた体育館の全面改装工事完了。



1．平成６年５月　㈱幸田電機製作所社長に幸田秀人取締役就任。

1．平成６年５月　㈱明星電気商会組合加入（平成６年４月19日理事会により加入承諾）、㈱日幸電機製作所所有地6,073.79㎡を取得。

1．平成６年５月　メルパルク蘭月において通常総会開催、第32期決算案他７議案を承認可決（賃貸料６月から廃止年約1,200万円減収、32期収支実績290百万円）。

1．平成６年７月　流山工業団地（協）一行５名組合収支改善策について現状聴取のため来団。

1．平成６年７月　組合東京事務所配電盤工業会館３階へ移転。
1．平成６年９月　団地１階会議室において臨時総会開催、定款第28条の変更決議（副理事長定員２名を３名に増員）。
1．平成６年10月　関東通商産業局長へ定款変更申請。
1．平成６年10月　定款変更について関東通商産業局長から認可、これによって定款変更が発効。
1．平成６年12月　労働省、21世紀職業財団水戸事務所の助成を受け「事業主団体短時間労働者雇用管理改善事業」を組合の新規事業として、向う３年間取り組み、平成９年３月終了した。
1．平成７年１月　使用中止していた団地内大型焼却炉及び久能ロータリーの給水塔撤去に着手、平成７年３月完了。
1．平成７年３月　平成４年11月から折衝していた懸案の団地内道路（北門から南門まで約750ｍ）について、茨城県知事の道路位置指定を受け建築基準法上の道路に認定された。
1．平成７年３月　団地内企業が採用した新規学卒者38名の合同入社式が団地２階ホールにおいて行われた。
1．平成７年３月　マーケットテナント富士電機テクニカ㈱撤退。
1．平成７年５月　配電盤工業会館５階において通常総会開催、第33期決算案他７議案を承認可決、役員任期満了により白川一郎、大條修也両理事退任、他７理事及び監事２名再選、同日理事会において宇賀神正理事を理事長に、白川節太郎、北川真、大矢英男の各理事を副理事長に、島津光康理事を専務理事にそれぞれ選任。
1．平成７年６月　団地１階会議室において開催した社長会で功労金（遺族弔慰金）贈呈基準を改定（引き下げ）した。
1．平成７年６月　㈱飯塚電機製作所社長に飯塚達雄専務就任。
1．平成７年９月　マーケットテナントに山洋工業㈱入居。
1．平成７年11月　配電盤工業会館５階会議室において開催した社長会で、社長会会長に白川節太郎、副会長に北川真がそれぞれ選任され同日就任した。
1．平成８年１月　日本ウエーブロック㈱組合加入（平成７年12月11日理事会により加入承諾）、大矢化学工業㈱所有地3,233.19㎡を取得。
1．平成８年１月　グランド外側町道拡幅舗装工事のためグランド用地の一部52.55㎡を総和町へ売却、フェンス移設保証金によりグランドフェンス移設工事を実施、平成８年３月完了。
1．平成８年３月　韓国電気工業(協)一行９名工場団地運営ノウハウ聴取のため来団。
1．平成８年３月　団地内企業が採用した新規学卒者12名の合同入社式が団地１階会議室において行われた。
1．平成８年３月　古河保健所の指導により、水道給水塔周囲の柵設置工事に着手、平成８年４月完了（投資額30万円）。

1．平成８年４月　㈱白川電機製作所会長白川一郎（前理事長）逝去。

1．平成８年４月　団地警備体制を事務局常傭の守衛４人による365日24時間警備から、夜間及び休日について外部へ委託、昼間警備要員も原則１人に減員した。
1．平成８年５月　配電盤工業会館５階会議室において通常総会開催、第34期決算案他７議案を承認可決（収支実績額175百万円）。
1．平成８年９月　利用者の要望により、食堂内照明設備増設工事に着手、平成８年10月完了（投資額50万円）。
1．平成８年11月　㈳関東電気保安協会調査員一行50名配電盤製造工程見学のため来団。
1．平成９年１月　宮田電機㈱所有地（6,773.12㎡）と日本ウエーブロック㈱所有地（3,233.19㎡）を交換（売買）。
1．平成９年２月　㈱幸田電機製作所が東京地方裁判所の職権により破産宣告を受け組合員資格喪失、法定脱退となる。
1．平成９年２月　450万円減資、㈱幸田電機製作所の破産により同社持ち分45口450万円について組合諸債権と相殺。
1．平成９年３月　団地内企業が採用した新規学卒者19名の合同入社式が団地１階会議室において行われた。
1．平成９年３月　450万円増資、組合員19社各20万円ハイデン工業㈱追加70万円割当、３月25日払込完了。
1．平成９年４月　財務金融委員会において白川節太郎委員を委員長に選任。
1．平成９年５月　宮田電機㈱篠原実専務が代表取締役に就任。
1．平成９年５月　浜松町東京會館パールルームにおいて通常総会開催、第35期決算案他７議案承認可決、役員任期満了により全員再選、同日理事会において役職理事も全員再任、理事長から文化厚生委員長に久保田勝三理事を指名。
1．平成９年７月　マーケットテナントタキゲン製造㈱撤退。
1．平成９年７月　㈱幸田電機製作所跡地（6,064.17㎡）について、破産管財人長島良成弁護士と大東プリント工業㈱が、物件引き渡し、代金支払いを平成９年９月10日とする売買契約締結、同時に大東プリント工業㈱から組合加入申出あり、平成９年７月15日理事会により加入承諾。

役員変遷表

平成9年8月31日現在

(故)幸田秀一	理事長	昭和37年4月	昭和62年1月
(故)白川一郎	常務理事	昭和37年4月	昭和52年5月
	副理事長	昭和52年5月	昭和62年1月
	理事長	昭和62年1月	平成7年5月
(故)久保田正	理事	昭和37年5月	昭和42年5月
	常務理事	昭和42年5月	昭和52年5月
	副理事長	昭和52年5月	昭和56年5月
(故)渡邊義男	理事	昭和50年11月	昭和56年6月
	副理事長	昭和56年6月	平成5年9月
大矢英男	監事	昭和57年5月	昭和62年1月
	副理事長	昭和62年1月	現在
(故)伊牟田繁	専務理事	昭和39年11月	昭和53年5月
藤沢右門	専務理事	昭和53年5月	昭和62年11月
(故)樋口重蔵	常務理事	昭和37年4月	昭和52年5月
	理事	昭和52年5月	昭和56年5月
(故)宇賀神金四郎	常務理事	昭和37年4月	昭和50年10月
(故)田原一郎	理事	昭和37年4月	昭和48年4月
武藤任	理事	昭和37年4月	昭和42年5月
宮田優	理事	昭和37年4月	平成元年5月
(故)大口慶次郎	理事	昭和37年4月	昭和52年3月
(故)古川高光	理事	昭和40年5月	昭和59年5月
(故)北川末二	理事	昭和42年5月	昭和59年7月
(故)渡辺勝次郎	監事	昭和37年4月	昭和42年5月
	理事	昭和42年5月	昭和50年10月

中谷俊衛	監事	昭和37年5月	昭和42年5月
	理事	昭和42年5月	平成元年5月
宇賀神正	理事	昭和50年11月	平成6年1月
	副理事長	平成6年1月	平成7年5月
	理事長	平成7年5月	現在
(故)幸田秀男	理事	昭和52年5月	平成5年5月
(故)村田清	理事	昭和52年5月	昭和53年5月
藤岡康太郎	理事	昭和59年11月	現在
村田光章	理事	昭和59年11月	平成元年5月
	監事	平成元年5月	現在
大條修也	理事	昭和59年11月	平成7年5月
北川真	理事	昭和59年11月	平成7年5月
	副理事長	平成7年5月	現在
久保田勝三	理事	昭和59年11月	現在
(故)遠藤てる	監事	昭和37年4月	昭和37年11月
(故)大矢武雄	監事	昭和42年5月	昭和57年3月
(故)藤岡成吉	監事	昭和42年5月	昭和43年5月
(故)大條駒雄	監事	昭和43年5月	昭和58年3月
山田稔	監事	昭和58年5月	平成元年5月
羽田健一	監事	昭和59年11月	昭和62年9月
白川節太郎	監事	昭和62年1月	平成5年12月
	理事	平成5年12月	平成7年5月
	副理事長	平成7年5月	現在
島津光康	理事	平成4年7月	平成5年5月
	専務理事	平成5年5月	現在
渡邊昭夫	監事	平成5年12月	現在

組合及び組合員の受賞等

組合が受けた表彰等

表彰状	労働大臣	昭和46年９月28日
表彰状	通商産業大臣	昭和56年11月27日
感謝状	総和町長	昭和60年10月12日
感謝状	東京都知事	昭和61年１月22日
感謝状	茨城県知事	昭和62年10月２日
表彰状	茨城県知事	昭和62年11月10日
表彰状	労働大臣	昭和63年11月24日
感謝状	総和町長	平成７年10月26日
感謝状	茨城県知事	平成７年11月29日

組合員の国家褒章受章者名簿

(故)幸　田　秀　一	従五位	昭和62年
	勲四等旭日重光章	昭和62年
	勲四等瑞宝章	昭和42年
	黄綬褒章	昭和40年
	紺綬褒章	昭和37年
(故)宇賀神　金四郎	従五位	昭和50年
	勲四等瑞宝章	昭和48年
	藍綬褒章	昭和42年
(故)大　條　駒　雄	勲四等瑞宝章	昭和51年
	黄綬褒章	昭和41年
(故)村　田　　清	勲三等瑞宝章	昭和55年
	藍綬褒章	昭和49年
	紫綬褒章	昭和37年
(故)白　川　一　郎	勲五等瑞宝章	昭和59年
宇賀神　　正	黄綬褒章	平成７年
矢　田　英　明	黄綬褒章	平成８年

組合関係機関の表彰者名簿

通商産業大臣表彰	(故)幸　田　秀　一	昭和58年
中小企業庁長官表彰	(故)幸　田　秀　一	昭和44年
東京都知事表彰	(故)白　川　一　郎	昭和57年
茨城県知事褒状	宮　田　　優	昭和62年
〃	中　谷　俊　衛	〃
茨城県労働基準局表彰	中　村　宣　夫	〃
中小企業事業団理事長表彰	(故)白　川　一　郎	昭和56年
東京都知事表彰	宇賀神　　正	平成４年
茨城県知事褒状	(故)渡　邊　義　男	〃
〃	宇賀神　　正	〃
建設大臣表彰	矢　田　英　明	平成５年
科学技術庁長官表彰	村　田　光　章	平成６年
茨城県知事表彰	(故)白　川　一　郎	平成７年

全国工場団地協同組合連合会会長表彰

中　谷　俊　衛（46年度）	宇賀神　　正（59年度）
(故)伊牟田　　繁（51年度）	中　谷　俊　衛（60年度）
(故)古　川　高　光（54年度）	藤　沢　右　門（61年度）
(故)白　川　一　郎（55年度）	初　見　康　司（平成２年度）
宮　田　　優（56年度）	(故)幸　田　秀　男（平成３年度）
(故)渡　邊　義　男（58年度）	

東京都中小企業団体中央会会長表彰

(故)樋　口　重　蔵（49年度）
(故)白　川　一　郎（　〃　）
(故)久保田　　正（50年度）
(故)大　口　慶次郎（　〃　）
宮　田　　優（　〃　）
中　谷　俊　衛（　〃　）
(故)伊牟田　　繁（　〃　）
中　村　宣　夫（　〃　）
岩　瀬　　清（　〃　）
(故)古　川　高　光（51年度）
(故)渡　邊　勝次郎（　〃　）
(故)北　川　末　二（54年度）
(故)大　矢　武　雄（56年度）
(故)渡　邊　義　男（61年度）
宇賀神　　正（　〃　）

社団法人日本電気協会会長表彰

(故)幸　田　秀　一（53年度）

全国中小企業団体総連合会会長表彰

(故)幸　田　秀　一（41年度）

全国中小企業団体中央会会長表彰

(故)幸　田　秀　男（54年度）

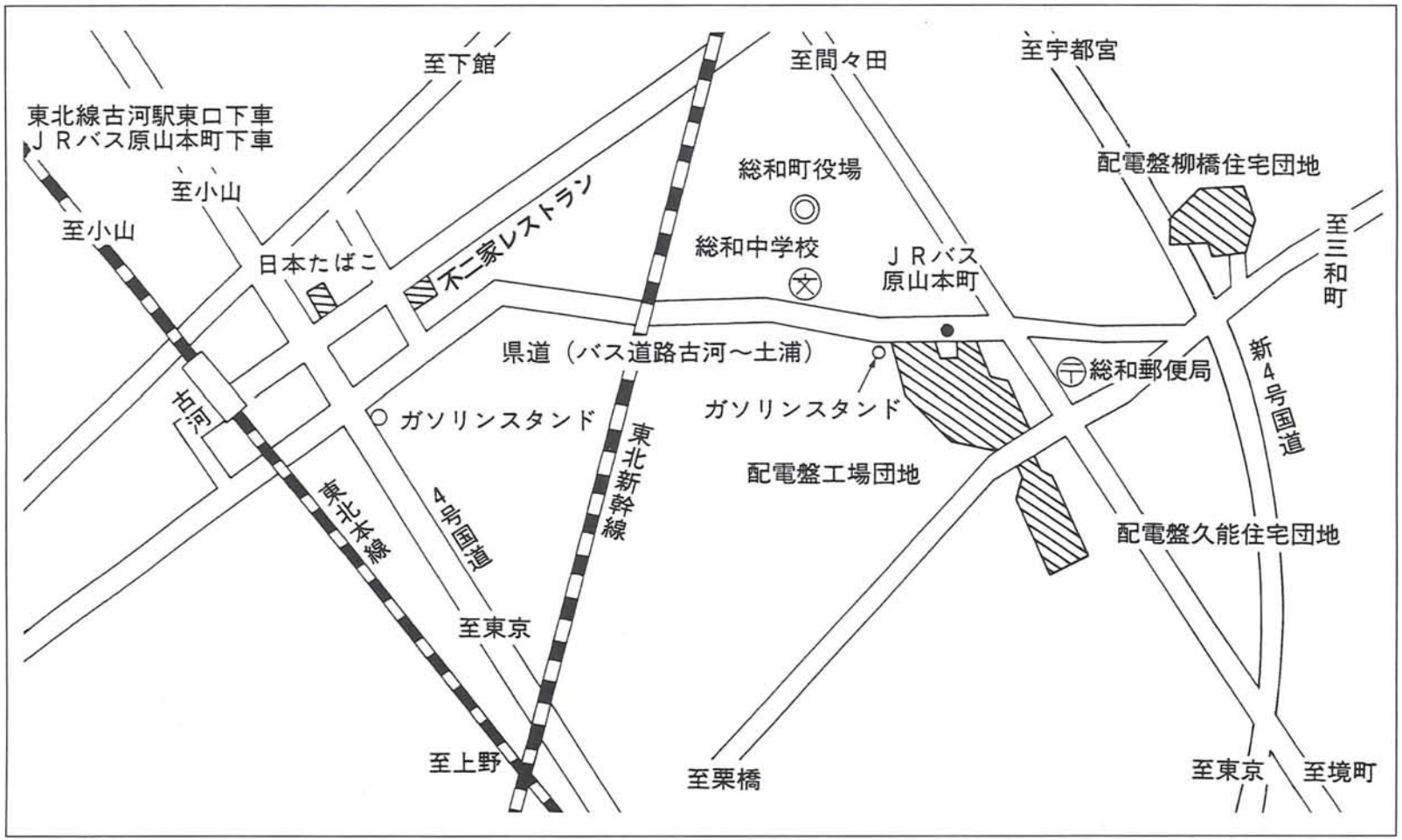
現役員紹介

理事長	宇賀神　正	宇賀神電機㈱	代表取締役社長
		ハイデン工業㈱	代表取締役社長
副理事長	白川節太郎	㈱白川電機製作所	代表取締役社長
副理事長	北川　真	三邦電機工業㈱	代表取締役社長
副理事長	大矢英男	大矢化学工業㈱	代表取締役社長
理事	藤岡康太郎	キムラ電機㈱	代表取締役社長
〃	久保田勝三	荏原電機工業㈱	代表取締役社長
監事	村田光章	光商工㈱	代表取締役社長
〃	渡邊昭夫	㈱渡邊製作所	代表取締役社長
専務理事	島津光康	員外	

組合員物故者名簿

氏　名	会　社　名	逝去日
田原一郎	田原電機㈱	昭和48年4月3日
宇賀神金四郎	宇賀神電機㈱	昭和50年10月11日
大口慶次郎	㈱大口電気計器製作所	昭和52年3月25日
羽田伝一	三国工業㈱	昭和54年7月14日
久保田正	荏原電機工業㈱	昭和56年5月18日
大矢武男	大矢化学工業㈱	昭和57年3月25日
大條駒雄	㈱日幸電機製作所	昭和58年3月24日
渡邊勝次郎	㈱渡邊製作所	昭和58年7月6日
北川末二	三邦電機工業㈱	昭和59年6月20日
三ケ尻隆治	三ケ尻工業㈱	昭和60年10月27日
幸田秀一	㈱幸田電機製作所	昭和62年1月2日
藤岡雄吾	キムラ電機㈱	平成2年12月20日
古川高光	㈱旭日電機製作所	平成3年1月3日
樋口重蔵	㈱樋口製作所	平成3年4月10日
村田清	光商工㈱	平成3年11月8日
渡邊義男	㈱渡邊製作所	平成5年9月18日
幸田秀男	㈱幸田電機製作所	平成6年4月6日
白川一郎	㈱白川電機製作所	平成8年4月1日

団地への交通略図


至下館
至間々田
至宇都宮
東北線古河駅東口下車
ＪＲバス原山本町下車
至小山
至小山
総和町役場
配電盤柳橋住宅団地
日本たばこ
不二家レストラン
総和中学校
ＪＲバス
原山本町
至三和町
県道（バス道路古河～土浦）
総和郵便局
新4号国道
ガソリンスタンド
ガソリンスタンド
旧河
東北本線
4号国道
東北新幹線
配電盤工場団地
配電盤久能住宅団地
至東京
至上野
至栗橋
至東京
至境町

団地内各社配置図

敷地面積

総　面　積	147,104 ㎡
共同施設敷地	16,632 ㎡
構 内 道 路	18,076 ㎡
工 場 敷 地	108,509 ㎡

株式会社　白川電機製作所

代　表　者　取締役社長　白　川　節太郎
資　本　金　4,900万円
所　在　地
　本　　社　〒152 東京都目黒区目黒本町２丁目７番１号
　　TEL　03－3714－2131　　FAX　03－3715－5224
　団地工場　〒306-02　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地
　　TEL　0280－92－0340　　FAX　0280－92－7921
　他　工　場　熊本工場・福島工場
　支店営業所　札幌・仙台・広島・熊本・沖縄・神戸・名古屋
団地工場面積　土地 6,399㎡　建物７棟　延 4,244㎡
沿　　革　大正２年７月港区広尾にて配電器具の製造業を創業、昭和23年11月目黒区目黒に移転、受変電設備の製造及び販売業を営む
役　　員　取締役社長　白川節太郎、取締役専務　白川龍弥、取締役営業本部長　石川英治、取締役工場長　鈴木正人、取締役生産管理部長　中田勇治、取締役営業部長　与儀正久、取締役営業部長　諏訪戸　強、取締役営業部長　八幡武夫、取締役工程管理部長　高見源嗣
従　業　員　男 93名　うち団地工場 67名
　　女 27名　うち団地工場 15名
　　計120名　　82名
　　有資格者（資格名）
　　電気製図１級６名、２級14名、電気機器組立１級５名、２級16名、電子機器組立１級２名、２級３名
生産加工品名　高圧、低圧配電盤、キュービクル、各種監視盤及び監視装置、自動制御盤、分電盤、耐熱型分電盤、開閉器、端子盤、集中監視制御盤、コンピュータシステム
主要機械設備　直結ボール盤、ラジアルボール盤、直結高速切断機、アイアンワーカー、12kW熔接機、コンプレッサー、５kW直流電動発動機、高圧試験測定機
関連(子)会社　㈱メンテ白川、白川電機㈱、総和白川工業㈱
　うち団地内所在会社
　　社　名　白川電機株式会社、総和白川工業株式会社

荏原電機工業株式会社

代　表　者　代表取締役　久保田　勝　三
資　本　金　2,000万円
所　在　地
　本　　社　〒141 東京都品川区上大崎３丁目13番21号
　　TEL　03－3441－0211（代）　FAX　03－3441－0212
　団地工場　〒306-02　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地
　　TEL　0280－92－0239　　FAX　0280－92－4307
団地工場面積　土地 6,600㎡　建物２棟　延 1,650㎡
沿　　革　昭和10年創業、昭和13年株式会社組織として設立、昭和39年茨城工場新設、昭和45年第２工場増設、昭和62年本社ビル新築
役　　員　代表取締役　久保田勝三、常務取締役　御厨文武、取締役　林田政照・坂本広次、監査役　久保田百合子
従　業　員　男 46名　うち団地工場 28名
　　女 13名　うち団地工場　7名
　　計 59名　　35名
　　有資格者（資格名）
　　電気主任技術者３種１名、第１種電気工事士８名、職業訓練指導員２名、配電盤電気製図技能士３名、配電盤組立技能士12名
生産加工品名　高低圧配電盤、制御盤、分電盤、端子盤、各種監視盤、コントロールセンター、直流電圧継電器
主要機械設備　クレーン３基、ベンダー１台、シャーリング２台、ボール盤５台、溶接機２台、ミニプレス３台、アイアンワーカー１台、ＣＡＤ６台、プログラミングローダー１台、電圧電流発生器１台、その他計測機器１式

宮田電機株式会社

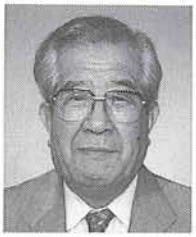
代　表　者	代表取締役社長　矢　田　英　明
資　本　金	6,000万円
所　在　地	
本　　社	〒170 東京都豊島区東池袋３丁目９番２号 TEL　03－3983－8961　　FAX　03－3983－9521
団地工場	〒306-02　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地 TEL　0280－92－0243　　FAX　0280－92－0264
団地工場面積	土地 3,233.19㎡　建物１棟　延 829.42㎡
沿　　革	大正９創業、昭和20年株式会社組織変更、昭和39年茨城工場新設、平成元年本社を現在地に移転
役　　員	代表取締役社長　矢田英明、代表取締役専務　宮田泰孝、代表取締役専務　篠原　実、常務取締役　吉田国八
従　業　員	男 27名　うち団地工場 19名 女　7名　うち団地工場　5名 計 34名　　24名 有資格者（資格名） 電気製図技能士1級1名、２級１名、第一種電気工事士４名、配電盤電気機器技能士１級３名、２級４名、電子機器組立技能士２級１名、電気工事施工管理技士１級１名、２級４名、衛生管理者１名
生産加工品名	高低圧配電盤、キュービクル、制御盤、監視盤、分電盤、計装用パネル
主要機械設備	プレス２台、ボール盤４台、研磨機２台、スライダック１台、施盤１台、ブスバーベンダー１台、高速切断機２台、試験設備一式

三邦電機工業株式会社

代表者	取締役社長　北川　　真
資本金	2,000万円
所在地	
本社	〒130 東京都墨田区本所3丁目22番3号 TEL　03－3624－3511（代）　FAX　03－3625－4616
団地工場	〒306-02　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地 TEL　0280－92－0755　　FAX　0280－92－1014
支店営業所	水戸営業所　〒310 茨城県水戸市泉町2-2-29　TEL 029-224-2261 宇都宮営業所 〒320 栃木県宇都宮市花園町4-1　TEL 028-635-1951 千葉営業所　〒260 千葉県千葉市中央区長洲1-21-4 TEL 043-221-0338
団地工場面積	敷地 6,500㎡　建物 2,809㎡
沿革	昭和15年城東製作所として創業、昭和22年株式会社組織として現在の社名に変更、39年茨城工場建設、昭和41年水戸営業所開設、46年宇都宮営業所開設、また第2組立工場建設、昭和58年千葉営業所開設
役員	代表取締役社長　北川　真、取締役　越中谷大輔・北川　春、監査役　北川則子
従業員	男101名　うち団地工場 70名 女 25名　うち団地工場　9名 計126名　　79名 有資格者（資格名） 1級配電盤組立技能士7名・2級15名、第一種電気工事士15名、1級電子機器組立技能士1名、2級電子機器組立技能士1名、2級工場板金技能士2名、プレス機械作業主任者3名、有機溶剤作業主任者7名、衛生管理者免許2名、ガス溶接技能士20名、アーク溶接技能士14名、鉛作業主任者2名、ガス熔接作業主任者1名、局所排気装置定期自主検査者1名、玉掛技能士49名、クレーン運転者32名、研削と石の取替え業務者11名、2級電気製図技能士6名、2級配電・制御システム検査士3名
生産加工品名	キュービクル式受変電設備、配・分電盤、監視盤、制御盤
主要機械設備	ＣＮＣタレットパンチ1台、ＮＣプレスブレーキ2台、シャーリング3台、ＮＣアイアンワーカー2台、ニブニングマシン1台、ポンチングマシン1台、コーナーシャー1台、スポット溶接機1台、半自動溶接機9台、油圧プレス5台、キャプテンソー1台

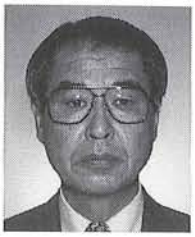
宇賀神電機株式会社

代　表　者　取締役社長　宇賀神　　正
資　本　金　4,700万円
所　在　地
　本　　社　〒106 東京都港区南麻布２丁目３番21号
　　TEL　03－3455－1611（代表）　FAX　03－3455－2610
　団地工場　〒306-02　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地
　　TEL　0280－92－0566　　FAX　0280－92－5481
　支店営業所　茨城営業所（水戸市白梅３－４－１横山ビル）
　　千葉営業所（千葉市中央区中央４－10－11アイビル201）
団地工場面積　土地 8,750㎡　建物４棟　延 4,264㎡
沿　　革　昭和２年創業、昭和22年株式会社設立、昭和37年茨城県へ進出、昭和39年配電盤団地に第１工場建設、昭和45年第２工場建設、昭和48年第３工場建設、昭和63年第４工場建設
役　　員　取締役社長　宇賀神　正、取締役副社長　宇賀神清孝、専務取締役　井隼正博、常務取締役　太田紘一、取締役生産本部長　渡辺　稔、取締役エンジニアリング部長　新原重信、取締役管理本部長　青木　弘
従　業　員　男 77名　うち団地工場 42名
　　女 27名　うち団地工場 19名
　　計104名　　61名
　　有資格者（資格名）
　　配電盤組立技能士特級１名、１級７名（内指導員５名）、２級13名、電子機器組立技能士１級４名、２級５名、電気製図（設計）技能士１級８名（内指導員６名）、２級７名、配電制御システム検査技能士２級４名
生産加工品名　キュービクル式非常電源専用受電設備（消防庁認定品）、高低圧配電盤、制御盤、監視盤、分電盤、端子盤、各種調光盤等
主要機械設備　キュービクル組立用ローラ・コンベヤー（40m）３レーン、分電盤組立用ローラ・コンベヤー（15m）２レーン、N.C付ターレットパンチプレス（30ｔ）１台、N.C付油圧ベンダー２台、油圧式シャーリング２台、油圧式ベンダー１台、自動収納庫（鋼板用）１台他
関連(子)会社　㈱ウガジン工業所、桂照明システム㈱
　うち団地内所在会社
　　社　名　㈱ウガジン工業所、桂照明システム㈱



株式会社　渡邊製作所

代　表　者　取締役社長　渡　邉　昭　夫
資　本　金　3,500万円
所　在　地
　本　　社　〒142 東京都品川区小山一丁目8番3号
　　TEL　03－3782－4111　　FAX　03－3788－4101
　団地工場　〒306-02　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地
　　TEL　0280－92－0230　　FAX　0280－92－0953
団地工場面積　土地 3,565㎡　建物1棟　延 825㎡
沿　　革　昭和5年1月創業、昭和35年1月株式会社に組織変更、昭和39年10月茨城工場新設、昭和51年2月資本金3,500万円に増資
役　　員　代表取締役　渡邉昭夫、取締役　渡邉　晃・渡邉三保・河野昭周・猿田昇
従　業　員　男 31名　うち団地工場　4名
　　女 12名　うち団地工場　2名
　　計 43名　　6名
　　有資格者（資格名）
　　2級電気工事施行管理技士3名、配電制御システム検査1名、第一種電気工事士8名、電機機器組立3名
生産加工品名　高低圧配電盤、分電盤、制御盤、他、電極保持器、水位開閉器、真空開閉器他
主要機械設備　施盤、フライス盤、ボール盤、形削盤他

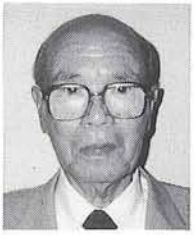


株式会社　飯塚電機製作所

代　表　者　取締役社長　飯　塚　達　雄
資　本　金　1,600万円
所　在　地
　本　　社　〒142 東京都品川区荏原５丁目１番７号
　　TEL　03－5751－2801（代表）　　FAX　03－5751－2533
　団地工場　〒306-02　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地
　　TEL　0280－92－5251　　FAX　0280－92－5466
　他　工　場　厚木工場
団地工場面積　土地 4,702㎡　建物２棟　延 1,150.9㎡
沿　　革　昭和８年飯塚光道が電力関係機器の修理及電気工事を主体として飯塚電機商会を創立、昭和16年株式会社明電舎大崎工場の外注工場として電動機の製作に着手、昭和26年エンジン発電機及エンジンポンプの自動制御盤を開発、自動制御を糸口として各種配電盤制作に取組、昭和49年飯塚賢治代表取締役社長に就任、昭和59年制御機部門を茨城配電盤団地内へ移転、平成７年飯塚達雄が代表取締役社長に就任、現在に至る
役　　員　取締役会長　飯塚賢治、取締役社長　飯塚達雄、取締役　北村勝伸・瀬戸英明・熊倉幸治
従　業　員　男 31名　うち団地工場 16名
　女　5名　うち団地工場　3名
　計 36名　　19名
生産加工品名　自家発電用各種制御盤、産業プラント用制御盤、ブレーキ用油圧装置EL ブースタ（特許№1444428号)速度開閉器、マルチ型スピードリレー、小形特殊モータ全般、ポンプ用各種制御盤、高低圧盤、受配電設備分電盤、クレーン、テレコン用制御盤、その他各種配電盤一式
主要機械設備　卓上ボール盤、コンプレッサー、ミニプレス、高速切断機、グライダー、その他、（試験設備）試験用変圧器、電動直流発電機、試験用高周波発電機、定電圧電源装置、配電盤試験装置、シンクロスコープ、耐圧試験器、各種測定用計器、（揚重設備）ホイスト、フォークリフト、パレットトラック

横河ジョンソンコントロールズ株式会社

代表者	代表取締役社長　青野秋徳
資本金	80,000万円
所在地	
本社	〒102 東京都千代田区九段北３－３－９　新一口坂ビル TEL　03－3230－7110　　FAX　03－5276－7453
団地工場	〒306-02　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地 TEL　0280－92－0346　　FAX　0280－92－0670
支店営業所	大阪・名古屋・九州（福岡）・東北（仙台）・北海道（札幌）・広島・東関東（千葉）・横浜・北関東（大宮）ほか営業所27ヶ所
団地工場面積	土地 5,879㎡　建物２棟　延 3,000㎡
沿革	昭和46年６月１日鷺宮ジョンソンコントロールズ株式会社設立、資本金１億６千万円、昭和53年９月１日資本金３億円に増資、昭和60年５月15日日本ジョンソンコントロールズ株式会社に社名変更、昭和62年３月11日資本金８億円に増資、昭和62年12月14日本社及び東京本店を文京区後楽から現所在地へ移転、平成元年4月1日横河ジョンソンコントロールズ株式会社に社名変更
役員	代表取締役会長　マーシャル・A・グレイソン、代表取締役社長　青野秋徳、専務取締役　深井吉士・栂　武史、常務取締役　平松　晋・田中洋介・高田　治、取締役　久光修一郎・安藤秀雄・一戸光一、監査役　鈴木基之・島村昌孝（非）・ブライアン・パンコウ（非）
従業員	男730名　うち団地工場 33名 女200名　うち団地工場　5名 計930名　　38名 有資格者（資格名） 電気検定第３種主任技術者１名、第１種電気工事士５名、第２種電気工事士１名、高圧電気工事士１名、二級電気工事施工管理士１名、配電盤技能士３名、アーク溶接主任２名、電気製図二級技能士２名、危険物取扱主任者第４類５名、ガス溶接作業主任者５名、消防設備点検資格１・２種１名、フォークリフト運転士13名、クレーン運転業務16名、高圧端末処理技能士1名、玉掛技能講習終了者16名
生産加工品名	空調制御盤、動力制御盤、中央監視盤、空調用各種制御機器
主要機械設備	恒温槽、温湿度発生器、耐電圧試験機、直流電圧電流発生器、標準抵抗器、標準圧力発生器、直流標準電圧発生器、交流標準電圧電流発生器、デジタルマノメータ、高精度デジタルマルチメータ、６ダイヤル可変抵抗器、絶縁計、デジタル絶縁計、ネットワーク用パソコン、デジタルマルチメータ



株式会社　港工業所

代　表　者　取締役社長　中　谷　俊　衛

資　本　金　7,200万円

所　在　地

本　　社　〒108 東京都港区芝浦３丁目20番９号

TEL　03－3769－1221　　FAX　03－3769－1227

団地工場　〒306-02　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地

TEL　0280－92－1727　　FAX　0280－92－1737

団地工場面積　土地 6,033㎡　建物２棟　延 2,382㎡

沿　　革　昭和18年創業、昭和24年株式会社組織として現在の社名に変更、昭和39年茨城工場完成、昭和43年茨城第二工場増設、昭和62年増資現在に至る

役　　員　取締役社長　中谷俊衛、常務取締役　中谷俊一、取締役　小出洋一・山中美英、監査役　中谷きよの

従　業　員　男 27名　うち団地工場 20名

女 16名　うち団地工場 14名

計 43名　　34名

有資格者（資格名）

第一種、第三種電気主任技術者３名、危険物取扱主任者１名、鉛作業主任２名、高圧、特別高圧電気取扱者２名、有機溶剤作業主任者２名、プレス作業主任者２名、変圧器組立２級技能士４名、乾燥設備作業主任者３名、以上各種技能講習終了者19名

生産加工品名　計器用変成器（ゴムモールド、エポキシモールド、油入密封式、屋内屋外用）、計器用変圧器、変流器、計器用変圧変流器、接地形計器用変圧器、試験用変圧器（220V～特別高圧77kV迄）各種変圧器等

主要機械設備　工作機械類、巻線設備、ゴム圧入加硫設備、絶縁ワニス真空含浸設備、レジン真空注形設備、自動コロナ測定器、雷インパルス耐電圧装置、他

光商工株式会社

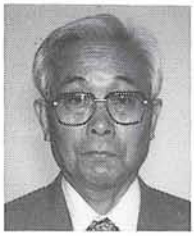
代表者	取締役社長　村田光章
資本金	12,000万円
所在地	
本社	〒104 東京都中央区銀座７－４－14光ビル TEL　03－3573－1362　　FAX　03－3572－0149
団地工場	〒306-02　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地 TEL　0280－92－0355　　FAX　0280－92－3709
支店営業所	大阪営業所・名古屋営業所・福岡営業所・川崎流通センター・台湾事業所
団地工場面積	土地 6,600㎡　建物７棟　延 3,598㎡
沿革	昭和24年港区新橋に資本金30万円を以て株式会社創立、昭和35年大阪、36年名古屋に営業所開設、昭和37年現在地に新社屋完成移転、40年茨城工場完成、48年福岡に営業所開設、62年台湾事業所開設、平成２年川崎に流通センター完成
役員	取締役社長　村田光章、専務取締役　村田龍二、取締役　竹田博行・長島庸孔・伊藤信男・鶴田孝幸・永松英幸・村田達哉・村田恭一・汲田耕次・常任監査役　真下英夫
従業員	男140名　うち団地工場 40名 女 60名　うち団地工場 33名 計200名　　73名 有資格者（資格名） １級電気工事施工管理技士３名、２級電気工事施工管理技士６名、高圧電気工事士２名、第一種電気工事士16名、第二種電気工事士６名、職業訓練指導員11名、１級電子機器組立技能士10名、２級電子機器組立技能士21名、２級電気製図技能士12名、衛生管理士２名、消防設備士乙種７類11名、有機溶剤作業主任者７名、鉛作業主任者２名、高圧ガス製造保安責任者１名、ガス溶接作業主任者１名、玉掛作業主任者３名、クレーン作業主任者１名、危険物取扱主任者２名
主要製造品目	地絡保護装置、漏電火災警報器、絶縁監視装置、医療用アイソレーションシステム
主要機械設備	周波数変換器、恒温槽、振動試験器、耐電圧試験器、自動検査装置、インサーキットテスター、負荷試験装置、コロナ試験装置、100kVインパルス試験器、チップ部品装着機、接着剤硬代リフロー装置、トロイダル捲線機、ユニバーサルプレスブレーキ、熱風循環乾燥器、自動半田装置、リードカッター、メモリーハイコーダ、シンクロスコープ、交流標準電圧電流発生器、信号発生器、周波数インバータ、落下衝撃試験器、電波暗室
関連(子)会社	光宏産株式会社、光不動産株式会社

株式会社　日幸電機製作所

代　表　者	代表取締役　大　條　文　也
資　本　金	10,800万円
所　在　地	
本　　社	〒211 神奈川県川崎市中原区上丸子山王町１－860－２
	TEL　044－455－1231　　FAX　044－455－1232
団地工場	〒306-02　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地
	TEL　0280－92－0233　　FAX　0280－92－6147
他　工　場	坂本工場（宮城県）
支店営業所	川崎・札幌・仙台・長野・沼津・北陸・名古屋・大阪
団地工場面積	土地 3,225㎡　建物２棟　延 1,268㎡
沿　　革	昭和10年創立、昭和27年本邦唯一の完全電磁式配線用遮断器を完成し製造販売を開始、その後機器保護用ブレーカ、漏電遮断器等を完成今日に至る
役　　員	大條文也、高橋　明、高野兼満、西岡有楽
従　業　員	男 95名　うち団地工場 20名 女 74名　うち団地工場　7名 計169名　　27名 有資格者（資格名） 電検三種（５）、第一種、二種電気工事士（８）、危険物24類（４）、無線従事者（４）、ボイラー１、２級（４）、衛生管理者（４）
生産加工品名	配線用遮断器、漏電遮断器、電力向安全ブレーカ、車輌、信号用ブレーカ、各種プロテクター、ディスポーザー
主要機械設備	短絡試験設備一式、ＮＣ旋盤、エアープレス、時限測定装置、電気調整台、絶縁試験機、電気スポット溶接機、自動油管組立機、自動コイル巻き機
関連(子)会社	北陸日幸電機㈱

キムラ電機株式会社

代　表　者　代表取締役社長　藤　岡　康太郎
資　本　金　9,465万円
所　在　地
　本　　社　〒141 東京都品川区西五反田１丁目33番10号
　　TEL　03－3492－8511（代表）　　FAX　03－3494－1997
　団地工場　〒306-02　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地
　　TEL　0280－92－2221（代）　　FAX　0280－92－5095
　支店営業所　東京営業所・中部営業所・九州営業所・西東京営業所・関西営業所
団地工場面積　土地 5,892㎡　建物２棟　延 1,822㎡
沿　　革　昭和２年創業、昭和39年茨城工場完成稼働、昭和44年九州営業所開設、昭和50年関西営業所開設、昭和57年茨城新工場完成、昭和62年西東京営業所開設、昭和63年中部営業所開設、平成６年本社営業部より東京営業所を分離開設
役　　員　代表取締役社長　藤岡康太郎、常務取締役　中谷　優、取締役営業部長　楠本征四郎、取締役茨城工場長　大前　攻、取締役総務部長　渡辺常男、監査役　高木義雄、浮田靖彦
従　業　員　男 98名　うち団地工場 59名
　女 44名　うち団地工場 27名
　計142名　　86名
　有資格者（資格名）
　技能検定電子機器組立１級１名、２級12名
生産加工品名　表示灯、端子台、操作用スイッチ、アナンシェータ、ＬＥＤランプ、モザイクシステム盤
主要機械設備　各種プレス機械、照度測定器、オシログラフ測定装置、万能投影機、振動衝撃装置、耐圧試験装置、温度試験装置、湿度試験装置、絶縁試験装置、自動ダイボンダー、自動ワイヤボンダー、熱衝撃試験機、光学顕微鏡、樹脂ディスペンサ、乾燥炉、他



大矢化学工業株式会社

代表者	代表取締役社長　大矢英男
資本金	1,000万円
所在地	
本社	〒153 東京都目黒区上目黒１－10－14 TEL　03－3462－2251（代）　FAX　03－3477－7543
団地工場	大矢化学工業株式会社茨城工場 〒306-02　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地 TEL　0280－92－1526　　FAX　0280－92－0266
他工場	本社工場　　目黒区上目黒１－10－14 八王子工場　八王子市石川町2973－１ （TEL　0426－42－8151　FAX　0426－44－7540）
団地工場面積	土地 16,500㎡　建物７棟　延 6,000㎡
沿革	昭和７年創業、昭和16年株式会社組織、昭和24年本社塗装工場復興、昭和39年茨城工場（団地内）完成、昭和42年八王子塗料工場完成、昭和47年八王子塗装工場完成、昭和57年粉体塗装工場完成、昭和63年電着塗装工場完成、平成元年自動ライン工場完成
役員	代表取締役社長　大矢英男、専務取締役　大矢敦雄、常務取締役　大矢智伸、取締役　大矢光伸・阿部尚之・水上徳則、監査役　阿部晴枝
従業員	男 90名　うち団地工場 32名 女 20名　うち団地工場　6名 計110名　　38名 有資格者（資格名） １級技能士（金属塗装）20名、２級技能士（金属塗装）20名、ボイラー技士１級４名、２級３名、危険物取扱者免許10名、特定化学物質取扱者主任３名、有機溶剤取扱主任６名、乾燥炉取扱主任者20名、玉掛技能講習修了者20名、クレーン運転士10名
生産加工品名	金属化成処理（パーカライジング処理）、金属塗装（吹付、焼付）、電着塗装、粉体塗装、静電塗装、粉体流動浸漬、メタリコン
主要機械設備	パーカライジングライン30ton,45ton,60ton各１ライン、ボイラー４基、乾燥炉50基、ブース45台、コンプレッサー50基、塗料製造設備一式、粉体塗装Ｉライン、連続塗装ライン４ライン、ホイスト90台、フォークリフト11台、カチオン電着塗装Ｉライン、ハンガーレール50セット、メタリコン１式、粉体流動浸漬設備一式
関連(子)会社	大矢化学興産株式会社

三ケ尻工業株式会社

代　表　者	代表取締役　三ケ尻　隆　幸
資　本　金	4,000万円
所　在　地	
本　　社	〒106 東京都港区南麻布２－８－21
	TEL　03－3451－1525　　FAX　03－3451－1535
団地工場	〒306-02　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地
	TEL　0280－92－0361（代表）　FAX　0280－92－3374
団地工場面積	土地 3,190㎡　建物３棟　延 1,497㎡
沿　　革	昭和21年10月三ケ尻工業㈱設立、昭和39年10月配電盤団地に工場建設
役　　員	代表取締役　三ケ尻隆幸、専務取締役　三ケ尻守男
従　業　員	男 25名　うち団地工場 25名
	女　5名　うち団地工場　4名
	計 30名　　29名
	有資格者（資格名）
	フォークリフト20名、クレーン技能講習修了者４名、安全管理者２名、ガス溶接作業主任者９名、玉掛講習修了者７名、防火管理者１名
生産加工品名	空調制御盤・配電盤の精密板金、各種レーザー孔明け折曲げ加工
主要機械設備	三菱レーザー加工機４台、ＮＣベンダー４台、ＮＣＴパンチプレス３台、シャーリング２台他

東京特殊工業株式会社

代　表　者	代表取締役　古谷野　孝　男
資　本　金	3,024万円
所　在　地	
本　　社	〒106 東京都港区南麻布２丁目２番11号
	TEL　03－3451－6206　　FAX　03－3452－0628
団地工場	〒306-02　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地
	TEL　0280－92－0750　　FAX　0280－92－0752
団地工場面積	土地 2,640㎡　建物４棟　延 1,630㎡
沿　　革	昭和32年東京特殊工業㈱とし古谷野武取締役社長に就任、昭和38年配電盤茨城団地に参画
役　　員	古谷野孝男、古谷野　執、古谷野　武、古谷野カツ
従　業　員	男 16名　うち団地工場 15名
	女　7名　うち団地工場　6名
	計 23名　　21名
生産加工品名	電機部品、プレス加工、板金加工

ハイデン工業株式会社

代表者	代表取締役　宇賀神　　正
資本金	1,000万円
所在地	
本社	〒105 東京都港区芝大門２丁目11番１号　配電盤工業会館３階
	TEL　03－3434－1305　　FAX　03－3434－1309
団地工場	〒306-02　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地
	TEL　0280－92－0014　　FAX　0280－92－1490
団地工場面積	土地 1,456.74㎡　建物１棟　延 981.84㎡
沿革	昭和45年４月設立、配電盤茨城団地（協）共同板金作業所を協業化法人に改組、昭和49年新工場事業所完成、以後機械設備の新鋭化に取組み現在に至る
役員	代表取締役　宇賀神　正、取締役　白川節太郎・北川　真・久保田勝三、監査役　大矢英男、三ケ尻隆幸
従業員	男 11名　うち団地工場 11名
	女　1名　うち団地工場　1名
	計 12名　　12名
	有資格者（資格名）
	工場板金（曲げ作業）１級検定合格者３名、２級検定合格者２名
生産加工品名	配電盤、分電盤、制御盤、監視盤他電気機器類ＢＯＸの板金加工
主要機械設備	ＮＣＴプレスと関連設備、垂直自動熔接機（３ジェットビームＶ－700)、自動プログラミング装置、ＮＣベンダー、セットプレス、シャーリング、ＮＣ９自動装置、コーナーシャー、アイアンワーカー、コピーニブリングマシン、パンチングコピーニブリングマシン
会社概要	当社は母体である団地組合の共同施設を改組した協業化法人で、受注の主体を団地組合員としているが、外部も積極的に受注して発展し、機械設備の近代化新鋭化投資によって生産力、品質の向上を図り、また従業員は若く、有資格者も多い活気に溢れる会社です。

龍田化学株式会社

代　表　者　取締役社長　杉　浦　寿　勇
資　本　金　20,000万円
所　在　地
　本　　社　〒111 東京都台東区柳橋一丁目三番九号
　　TEL　03－3861－9331　　FAX　03－3861－6288
　団地工場　〒306-02　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地
　　TEL　0280－92－9488
　他　工　場　総和工場
　支店営業所　大阪営業所
団地工場面積　土地 8,196.63㎡　建物４棟　延 2,990.85㎡
沿　　革　1955年５月龍田ゴム興業株式会社創立、塩化ビニル製造を開始、1968年１月事業の発展に伴い社名を龍田化学株式会社と改める、1981年４月資本金２億円を以てマルト株式会社を設立〈鐘淵化学工業㈱と折半出資〉、1987年10月茅ヶ崎工場を総和へ移転、マルト㈱と同敷地内にて操業開始
役　　員　代表取締役会長　伊集院通明、代表取締役社長　杉浦寿勇、常務取締役　池田民雄・高瀬　進・伊集院通弘・吉川英夫
従　業　員　男 97名　うち団地工場　3名
　　女 16名　うち団地工場　　名
　　計113名　　3名
生産加工品名　ＰＶＣシート、ＰＰシート
主要機械設備　カレンダー３台、押出機２台、エンボス機８台、ペイント２台、プリント機２台、ラミネート機２台
関連(子)会社　マルト株式会社、株式会社ピー・アンド・ピー

株式会社　明星電気商会

代　表　者　代表取締役　若　林　國　雄
資　本　金　2,000万円
所　在　地
　本　　社　〒101 東京都千代田区鍛冶町１丁目２－６
　　TEL　03－3252－5581　　FAX　03－3252－5588
　団地工場　茨城物流センター
　　〒306-02　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地
　　TEL　0280－92－8130　　FAX　0280－92－8160
　支店営業所　仙台営業所・札幌営業所・名古屋営業所
団地工場面積　土地 6,074㎡　建物１棟　延 829㎡
沿　　革　昭和21年１月㈲明星電気を東京都中央区本石町に設立、昭和25年１月㈱明星電気商会に改組、鉄道関係の信号・通信・電力ケーブル中心の電線流通業者としてスタートする。昭和53年３月古河電工㈱と特約店契約を締結、ＪＲ関係の販売代理店となり現在に至る。
役　　員　代表取締役　若林國雄、取締役　戸沢晴子・高田栄二・若林憲二・竹内登、監査役　若林淑江
従　業　員　男 16名　うち団地工場　6名
　　女 10名　うち団地工場　2名
　　計 26名　　8名
取扱品目　伸銅品、巻線、ビニール線、光ケーブル、電力ケーブル、信号ケーブル、通信ケーブル、端末処理材、３Ｍ処理材、電線保護管、パイプ、架線金物、工事材料一式
関連(子)会社　明星電気工事㈱

日本ウェーブロック株式会社

代表者	代表取締役会長　木根淵弘水　　代表取締役社長　小西　定
資本金	214,370万円
所在地	
本社	〒104 東京都中央区勝どき３丁目12番１号 TEL　03－3536－8161（大代）　FAX　03－5546－0555
団地工場	〒306-02　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地 TEL　0280－92－2051　　FAX　0280－92－3471
他工場	総和第一工場　〒306-02 茨城県猿島郡総和町下大野1820 一関工場　〒021 岩手県一関市東台14－25
支店営業所	大阪支店　　〒542 大阪市中央区南船場１丁目18番17号 九州支店　　〒812 福岡市博多区博多駅前３丁目２番１号 東北営業所　〒980 仙台市青葉区一番町２丁目１番２号
団地工場面積	土地 6,773.12㎡　建物２棟　延 3,200.72㎡
沿革	昭和39年６月20日設立、昭和40年２月ウェーブロック製品の生産、販売を開始（工場；総和町）、平成２年10月　日本証券業協会に店頭売買銘柄として登録、当社株式を公開、平成３年６月一関工場竣工、平成８年12月20日東京証券取引所市場第二部上場、平成９年２月総和第二工場の建設に着手。
役員	代表取締役会長　木根淵弘水、代表取締役社長　小西　定、専務取締役　大木　宏・浅井宏一、取締役　梶原俊久・千葉貞郎・伊津野　平・八木澤久雄・藤田和久・長谷川　照・渡辺乙一・米本雅則、常勤監査役　相馬謙司、監査役　木根淵　純・荒井廣文・門脇日出男・上野謹爾
従業員	男263名　うち団地工場 20名 女 54名　うち団地工場　1名 計317名　　21名 有資格者（資格名） 舘野　進（放射線取扱主任者）、鈴木　章（電気主任技術者）
生産加工品名	建築工事用ターポリンシート・メッシュシート、防音シート、農水産用作業合羽、三菱農ビ・ウェーブロック、ブラインド等建装資材、自動車外装用光輝テープ「テクミラー」、各種プラスチックフィルム、各種壁紙ベース、低公害耐熱ＰＰシート「パディオ」、各種成型用シート（ＰＰ、ＰＳ、ＰＥＴその他オレフィン系樹脂）
主要機械設備	コーティング設備、カレンダー設備、ラミネート設備、押出成型設備、真空成型設備、ウェーブロック設備

組 合 員 名 簿

（順不同）

組合員名	代表者氏名	所在地（本社工場）	電話 FAX	本社工場	団地工場	業種
㈱白川電機製作所	白川節太郎	〒152 東京都目黒区目黒本町2-7-1	☎ FAX	(03)3714-2131 (03)3715-5224	(0280)92-0340 (0280)92-7921	高・低圧受配電設備・制御盤・分電盤、キュービクル受電設備他
荏原電機工業㈱	久保田勝三	〒141 東京都品川区上大崎3-13-21	☎ FAX	(03)3441-0211 (03)3441-0212	(0280)92-0239 (0280)92-4307	〃
宮田電機㈱	矢田 英明	〒170 東京都豊島区東池袋3-9-2	☎ FAX	(03)3983-8961 (03)3983-9521	(0280)92-0243 (0280)92-0264	〃
三邦電機工業㈱	北川 真	〒130 東京都墨田区本所3-22-3	☎ FAX	(03)3624-3511 (03)3625-4616	(0280)92-0755 (0280)92-1014	〃
宇賀神電機㈱	宇賀神 正	〒106 東京都港区南麻布2-3-21	☎ FAX	(03)3455-1611 (03)3455-2610	(0280)92-0566 (0280)92-5481	〃
㈱渡邊製作所	渡邊 昭夫	〒142 東京都品川区小山1-8-3	☎ FAX	(03)3782-4111 (03)3788-4101	(0280)92-0230 (0280)92-0953	〃
㈱飯塚電機製作所	飯塚 達雄	〒142 東京都品川区荏原5-1-7 皐月コーポ	☎ FAX	(03)5751-2801 (03)5751-2533	(0280)92-5251 (0280)92-5466	〃
横河ジョンソンコントロールズ㈱	青野 秋徳	〒102 東京都千代田区九段北3-3-9 新一口坂ビル	☎ FAX	(03)3230-7110 (03)5276-7453	(0280)92-0346 (0280)92-0670	空調制御盤、動力制御盤、中央監視盤、各種制御機器
㈱港工業所	中谷 俊衛	〒108 東京都港区芝浦3-20-9 ＢＲ芝浦Ｎビル５Ｆ	☎ FAX	(03)3769-1221 (03)3769-1227	(0280)92-1727 (0280)92-1737	計器用変圧器、変流器、変成器、各種変圧器他
光商工㈱	村田 光章	〒104 東京都中央区銀座7-4-14 光ビル	☎ FAX	(03)3573-1362 (03)3572-0149	(0280)92-0355 (0280)92-3709	漏電火災警報器、地絡保護装置、絶縁監視装置他
㈱日幸電機製作所	大條 文也	〒211 神奈川県川崎市中原区 上丸子山王町1-860-2	☎ FAX	(044)455-1231 (044)455-1232	(0280)92-0233 (0280)92-6147	車輌、信号用ブレーカ、電力向安全ブレーカ、漏電遮断器他
キムラ電機㈱	藤岡康太郎	〒141 東京都品川区西五反田1-33-10	☎ FAX	(03)3492-8511 (03)3494-1997	(0280)92-2221 (0280)92-5095	表示灯、端子台、操作用スイッチ他
大矢化学工業㈱	大矢 英男	〒153 東京都目黒区上目黒1-10-14	☎ FAX	(03)3462-2251 (03)3477-7543	(0280)92-1526 (0280)92-0266	金属化成処理、電着、静電、粉体塗装他
三ケ尻工業㈱	三ケ尻隆幸	〒106 東京都港区南麻布2-8-21	☎ FAX	(03)3451-1525 (03)3451-1535	(0280)92-0361 (0280)92-3374	板金加工、ＮＣ穴明け、ＮＣ折曲げ、各種レーザー加工
東京特殊工業㈱	古谷野孝男	〒106 東京都港区南麻布2-2-11	☎ FAX	(03)3451-6206 (03)3452-0628	(0280)92-0750 (0280)92-0752	電機部品プレス 板金加工他
ハイデン工業㈱	宇賀神 正	〒105 東京都港区芝大門2-11-1	☎ FAX	(03)3434-1305 (03)3434-1309	(0280)92-0014 (0280)92-1490	板金加工
龍田化学㈱	杉浦 寿勇	〒111 東京都台東区柳橋1-3-9 戸谷ビル４Ｆ	☎ FAX	(03)3861-9331 (03)3861-6288	(0280)92-9488 (0280)92-0111	ＰＶＣシート ＰＰシート
㈱明星電気商会	若林 國雄	〒101 東京都千代田区鍛冶町1-2-6	☎ FAX	(03)3252-5581 (03)3252-5588	(0280)92-8130 (0280)92-8160	伸銅品、巻線、ビニール線、光、電力等各種ケーブル他
日本ウエーブロック㈱	木根淵弘水	〒104 東京都中央区勝どき3-12-1 F.Fタワー	☎ FAX	(03)3536-8161 (03)5546-0555	(0280)92-2051 (0280)92-3471	建築工事用シート他各種シート 壁紙ベース他　製造

（注）団地工場の所在地は19社全部、茨城県猿島郡総和町下大野2000番地（〒306-02）です。

△配電盤茨城団地協同組合

団地事務所　茨城県猿島郡総和町下大野2000番地
(0280)92-1811(代表)　FAX(0280)92-1815
東京事務所　東京都港区芝大門２丁目11番１号（配電盤工業会館３Ｆ）
(03)3434-1305(代表)　FAX(03)3434-1309